GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 9月号

vol 03

2021.09

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

contents

巻頭特集「ダイバーシティ理解を深めよう！～ガバナーとめぐる“多様性”その2」 …2

「基本的教育と識字率向上」月間によせて …4

第1回諮問委員会報告 …5

会員増減・出席率 …5

グループ別クラブ紹介（グループ2） …6

新会員紹介 …7

【お詫びと訂正】第1回　ロータリー知識クイズについて …8

Rotary District 2710

Rotary District 2710

巻頭特集

ダイバーシティ理解を深めよう！
～ガバナーとめぐる“多様性”その2

踊らされず惑わされず、信念をもって事業を行う先に見えてくる「職業奉仕」の意義

2021-2022年度の地区運営のメインテーマは「ダイバーシティ（多様性）理解」です。ロータリアンが多様性、公平さ、開放性を最優先に活動をしていくうえで視野を広めるための新たな試みとして始まった、杉川聡ガバナーと各界の“行動人”の対談。第2回は、一般社団法人山口総合健診センター理事長の西山達矢さんです。

西山達矢 さん

1959年和歌山県生まれ。1989年に一般社団法人山口総合健診センターに入所、1995年に理事長に就任。山口県内唯一の健診専門施設として開設した同センターは2020年に創立40周年を迎えた。山口県央ロータリークラブ所属

ロータリークラブの活動を通じて知った「職業奉仕」の尊さ

西山　一般社団法人山口総合健診センターは、山口県内唯一の健診専門施設として1980年に設立。設立者で初代の理事長だった妻の父の急逝により、1995（平成７）年、36歳の時に理事長に就任しました。私自身は和歌山県の出身で、それまでは山口県外で薬剤師・細胞検査士をしていました。

理事長就時から自問自答してきたのが「仕事とは何か？」ということです。職員が健診センターの仕事を通じ、生きがい、やりがいを感じるには？ と模索していました。その回答を得たのが、ロータリークラブに入会して知った「職業奉仕」の精神です。自分の仕事を通じて世の中に奉仕していくという考えに、仕事とは何か？の意義を見出すことができました。

杉川　「職業奉仕」はロータリークラブならではの概念です。日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努める――。

一人一人の職業を通じて社会にいかに奉仕するかという「職業奉仕」の根底にあるのが「I Serve（私は奉仕する）」という理念です。ロータリークラブでは各自が個人として高い意識を持って活動することが求められます。

西山　利益を追求することは汚いこと、という風潮がありますが、当センターでは受診者から「ありがとう」という言葉と気持ちの対価として料金をいただいています。「健診を通じて社会に貢献する」という思いがやがて自分のところへ戻ってくることを職員が仕事を通じて体得し、生きがい、やりがいを感じられる機会を創出することが、経営者である私の役割と捉えています。

30代のとき入会したJCで、江戸時代の近江商人が発祥と言われる「三方よし」の教えに出会いました。「職業奉仕」の精神には、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」の教えに通じるものがあると感じます。「職業奉仕」と「三方よし」をテーマにした物語を自主制作し、職員の教育に活用しています。

杉川　私は27歳で会社を引き継いだのを機にJCに入会し、40歳でロータリークラブの会員になりました。入会当初は自分自身も若く、経営者として収益を上げることが第一と思っていました。しかし年齢を重ね経験を積む中で、地域の再生事業を通して地域の方々からいただく「ありがとう」の言葉に心が満たされ、目先の収益を追わずとも、長期的な視点で事業を積み上げていくことで業績も上がるとわかりました。人や社会のためになる行いをすれば、自分にも充足感があり、巡りめぐって利益として返ってくる。そんなふうに循環していくものなのですね。

63歳の現在、「自利利他（自らの悟りのために修行し努力することと、他の人の救済のために尽くすこと）」の心境が理解できるようになりました。バブル崩壊、リーマンショック、そして世界的なコロナ禍と、時代の変化に伴う価値観の転換を目の当たりにする中で、ロータリアンとして「職業奉仕」の意義を実感しています。

こころの医療センターを目指し、健診と心を結ぶ事業を模索

西山　今年４月に就労継続支援Ｂ型事業所「心の里あらいぶ」を開所しました。きっかけは、15年前に健診センターで始めた障がい者健診でした。健診を行うにあたって、前例もなく反対する役員もいました。しかし、実施したあとに女性職員から「理事長、良い仕事をしましたね」と言われました。受診者の親からとても喜ばれ、職員に感謝の言葉をいただいたというのです。職員の喜びも大きく、仕事のやりがいを感じた、ということでした。これは言い換えれば「幸せのキャッチボール」。こころの医療センターを目指し、健診と心を結ぶ何かができないか　と模索を続けるなかで、行きついたのが就労支援事業です。

「心の里あらいぶ」開所にあたっては、コンサルタントに頼らず、自分たちですべて進めようと決意し、私と息子

で手分けをして取り組みました。開所直前にアクシデントに見舞われたりもしましたが、知恵を絞り、無事に開所できました。

「心の里あらいぶ」では、利用者のハンディキャップや希望に合わせた仕事を自分のペースで行えるように配慮しています。健診センターの花壇の手入れやセンター内の清掃作業、委託企業からの郵便物や折り込みチラシの封入、簡単なパソコン入力作業などを行っています。健康診断や心理カウンセリングなど、利用者の心身をサポートしながら、作業を通じて達成感が得られるような支援を行っています。

杉川　当グループにも就労移行支援事業所があります。就労支援を経て一般就労につながるケースがあり、そんな人材を私自身も見てきました。何ができるか入所してすぐにはわからなくても、就労者の特性を知り、２年後にできる仕事がわかることも。本人に適した仕事をマッチングできた時、親から感謝された経験があります。親さえ気づかなかったその人の良い点を発見した喜びは、本人やその親はもちろんのこと、担当した職員へも広がっていきます。利用者が成長していく姿にスタッフも満足や喜びがあり、やりがいにつながっていきます。就労支援を通じ、気づかされることは多々ありますね。

西山　就労者のモチベーションを上げる環境を整えることも大切です。表には出ない地味な作業も多いですが、就労者へ「ごくろうさま」「ありがとうございます」とスタッフが声をかけることが彼らのやりがいとなります。ささいなことも見逃さず、職員から声を掛ける習慣は、健診センターではすでに定着しています。

ただ、障がい者に対する偏見はまだ強くあるのも現実です。例えば、当センターで障がい者が個人情報を取り扱う事について議論になったことがありますが、「障がい者だから個人情報を取り扱ってはいけない」という捉え方をすること自体が、障がい者に対する偏見、先入観だと思うのです。個人情報を取り扱う事ができるかできないかは各自で異なります。「障がい者だからできない」と一律に決めつけてしまう対応ではなく、一人ひとりの事情に沿い、柔軟に対処しなくては。

ロータリークラブは「倫理道場」　学び、成長する場

杉川　「障がい者だから」「女性だから」とひとくくりにするのではなく、個々の問題として考える必要があります。東京五輪・パラリンピック組織委員会で、「女性の話は長い」と発言されて批判が高まりましたが、男性にも女性にも話が長い人はいるのですから、男女で決めつけるのはおかしいと思います。

西山　これまでの日本社会では、男性の考え方を女性にも求めてきたように思います。でも、それでは女性は力を発揮できません。各国のジェンダー不平等状況を分析したジェンダー・ギャップ（男女平等）指数で、ランキングの上位を北欧諸国

が占めているのに対し、日本は世界153カ国中120位と男女格差が大きいです。男性も女性への理解を深めていかなければ、真の豊かさにはつながらないと思います。

杉川　2021-2022年度の全国のガバナーエレクトは全員男性です。これは日本社会の現状と同じと感じます。ローターアクターの若い人とも活動を共にし、彼らの考えや発想などを取り入れていく必要があります。ダイバーシティについては総論ではわかっていても、各論でわかっていないという現状があります。思いや志を同じくする仲間を増やし、影響力を高めていきたいですね。

西山　「CSR（企業の社会的責任）」や「SDGs（持続可能な開発目標）」という言葉を掲げれば、投資家の気を引きやすく人材の採用もしやすくなる側面がありますが、評価されるために声高に発することではないと思っています。流行に踊らされず、人や社会に対して善いと思うことをコツコツと継続していくだけです。

杉川　「にわかSDGs」とならないように、信念を持って正しく前を向いていかなくては。流行りや目新しさに惑わされず、信念をもって地道にやってきた人や会社が残っています。

ロータリークラブの目的は親睦を深めることと奉仕の２つがありますが、経済人が誇りを持ち自社のサービスを提供していく職業奉仕こそが原点。西山さんはその実践者とお見受けしました。今後の活躍を期待しています。

西山　ロータリークラブはまさに「倫理道場」。多くのことを学び、人としても成長できました。入会してよかったです。

事業所紹介

就労継続支援B型事業所「心の里あらいぶ」

山口市小郡下郷16-2　TEL: 083-972-5511
山口総合健診センターと提携し、看護師による問診や日々のメディカルチェックのほか、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリングも実施。25種類のメニューから選べる日替わり弁当の支給など、利用者に寄り添う充実した体制が特長。
http://kokoronosato-alive.com/

「基本的教育と識字率向上」月間によせて

国際ロータリー第2710地区
2021-22年度グループ２　ガバナー補佐（美祢RC）
田村　繁晴

私たちは、文字を読み書きすることを通して多くの利点が得られます。識字によって、先人の失敗から学び、過ちを繰り返さず、物事を発展的に進めることができます。このように、識字とは単なる文字の獲得にとどまらず、人間の開放と発達に貢献するものであると言うことができるでしょう。

読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約７億７千万人。これは、全世界の成人の17％にあたります。しかも、１億800万人（1999年）の子供たちが小学校に通っておらず、そのうち３分の２が女の子でした。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です。

社会の中で弱い立場にある人ほど非識字者が多い。なぜそうなのかと考えると、学校が無い、教材や指導者が不足する、国の制度が整っていない、女性に学問はいらないと考えられている、学習よりは労働力を求められる等々の理由が考えられます。一方、日本の識字率はほぼ100％であり世界トップクラスを誇っています。

この違いを思うとき、私たちができることは何でしょうか。今月のテーマである「基本的教育と識字率向上」月間を迎えるにあたり、これを機会に考えてみる必要があるのではないでしょうか。私たちロータリアンは大きな志をもった、各界のプロの集団であります。それぞれが得意な分野で特異な技術や知恵を出し合い、ロータリーをとおして世界へのプレゼントになろうではありませんか。字を読み書きできるようになるということは、知識を得て主体的に生きていくことができるだけでなく、それ自体が大きな喜びであると思います。喜びを全世界に与えていきましょう。

「基本的教育と識字率向上」といいますと、まず貧困だとか、紛争や政治不安とか宗教的な理由で子供たちが教育を受けることができず、結果として識字率が上がらない途上国のことを思い浮かべます。そういった国で教育を受けられるようにするには、まず学校が必要になります。学校があっても教える先生がいなければなりません。そして教えるためには教材も必要です。また子供たちが学校へ安心して通うことができ、衛生教育も受けられるようになるためには、安全な水も必要になります。またきれいなトイレや手洗い場も必要です。制服も必要になりますし、靴も持っていない子供たちもいます。考えれば考えるほど次々と問題点が出てきます。

数年前に戦没者追悼祭に参列するためにマダガスカル（アフリカ大陸東部の島国）に行ったことがあります。大使館を通して最大限の安全を確保してもらっての旅でした。１週間に１便の飛行機で到着したものの、世界最貧国３番目ということで、国民の生活状況は大変なものでした。洗濯は濁った川で、干す場所は川の土手。ホテルを出てスーパーに行こうとすると２歳から７歳と思われる小さい子供が裸足で物乞いに付きまとう。日本語を教えている高等学校を訪問すれば、粗末な教材と古びた黒板、教室には100ワットくらいの裸電球１個。首都から北側での行程であったから良いが、南側では夜間おいはぎが出て被害が度重なるといいます。こうした途上国での教育の状況は、まだまだ援助が必要とされています。

重要なのは、彼らに基本的教育を提供し識字率を上げれば、他の様々な問題を解決する糧になると考えるからです。全ての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は66％減少します。読み書きのできる母親を持つ子供は読み書きのできない母親の子供と比べて、５歳以上まで生き延びる確率が50％高くなります。低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合、１億7,100万人（全世界の貧困の12％に相当）が貧困から抜けだすことができます。識字率を上げることで、貧困を減らし健康状態を改善し、地域社会の発展につなげることができるのです。

ロータリー財団では、奨学金、教材や学用品の寄贈、奉仕プロジェクトを通じて、世界中で教育支援を行っています。

ロータリー財団の６つの重点分野の一つであり、ロータリアンが次のような形で目的と目標をかかげ支援することを可能にします。

1．基本的教育と識字能力をすべての人びとに与える地域社会の力を高めるプログラムの支援。
2．成人の識字率の向上。
3．教育における男女格差を減らすための活動。
4．基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

こういった活動により、教育を受け識字率が上がることで、貧困から抜け出すことができます。教育は基本的人権であり、質の高い教育は個人及び社会全体の発展と豊かな暮らしのために必要不可欠です。読み書きを教えることは、一生使えるスキルを教えることです。その恩恵は、ひとり、またひとりと、地域全体に波及します。

第１回諮問委員会報告

国際ロータリー第2710地区
2021-22年度　地区代表幹事　佐々木　宏

本年度第１回諮問委員会が７月８日（木）14時から開催されました。

新型コロナ感染防止のため残念ながらZoomによるWEB会議となりましたが、15名のパストガバナー、杉川ガバナー、石川ガバナーエレクト、井内ガバナーノミニーにご出席いただき総勢23名となりました。

まず最初に脇直前ガバナーのご挨拶があり、引き続いて松原前年度地区代表幹事より前年度2020-21年度の報告がありました。

1　会員の動向について
2710地区2021年５月末現在　3,205名（女性会員177名）で51名増
６月末の動向に要注意

2　ロータリー財団
各クラブ及び各地区寄付状況、DDF配分、グローバル補助金

3　米山記念奨学会
各クラブ及び各地区寄付状況

4　各種表彰
クラブ表彰、個人表彰

5　地区決算見込み

続いて杉川ガバナーより、本年度の運営方針の報告がありました。

1　地区運営方針
2　公式訪問
3　ローターアクト、インターアクト、RCC、プロバスクラブ、財団奨学生
4　地区補助金プロジェクト
5　クラブ活性化ワークショップ

続いて石川ガバナーエレクトより次年度の運営方針の報告がありました。

1　次年度の委員会編成
2　主要日程

最後に大之木前年度RLI委員長より、前年度はRLIのパート２、３が実施できなかった。その代替として参加者からレポートの提出をいただき、審査の結果59名の参加者に修了書を渡すことができたとの報告がありました。

又吉原パストガバナーより、本年度からのロータリー財団のWF とDDFの配分の変更、またロータリー重点項目に「環境」が追加となったとの報告がありました。

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度会員増減・出席率（2021年7月度）

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
1	長門	96.08	17	17	3	0	0
	下関	76.09	45	47	1	2	0
	下関中央	75.93	37	38	7	1	0
	下関東	73.84	66	66	3	0	0
	下関北	89.44	43	43	1	1	1
	下関西	85.56	31	31	0	0	0
	計	**82.82**	**239**	**242**	**15**	**4**	**1**
2	萩	98.42	50	50	1	1	1
	萩東	100.00	25	25	0	0	0
	美祢	86.36	21	22	1	1	0
	小野田	76.72	36	37	2	1	0
	宇部	94.56	45	46	2	1	0
	宇部東	75.00	9	9	1	0	0
	宇部西	89.36	46	47	3	1	0
	計	**88.63**	**232**	**236**	**10**	**5**	**1**
3	防府	93.92	55	55	1	1	1
	防府北	100.00	21	22	2	1	0
	防府南	76.19	41	43	8	2	0
	山口	88.25	41	44	4	3	0
	山口県央	97.92	24	25	1	1	0
	山口南	98.75	43	43	5	0	0
	計	**92.51**	**225**	**232**	**21**	**8**	**1**
4	光	81.90	40	40	0	0	0
	周南西	92.73	56	59	6	3	0
	徳山	100.00	39	40	1	1	0
	徳山セントラル	86.96	24	24	1	0	0
	徳山東	100.00	43	43	0	0	0
	計	**92.32**	**202**	**206**	**8**	**4**	**0**

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
5	岩国	86.67	62	65	0	3	0
	岩国中央	89.86	38	38	4	0	0
	岩国西	92.38	62	62	5	0	0
	柳井	100.00	24	26	1	2	0
	柳井西	100.00	22	22	5	0	0
	計	**93.78**	**208**	**213**	**15**	**5**	**0**
6	広島	100.00	113	115	2	3	1
	広島安芸	100.00	42	42	3	0	0
	広島安佐	96.25	20	20	1	0	0
	広島東	100.00	110	113	9	4	1
	広島北	100.00	101	101	0	0	0
	広島陵北	100.00	53	54	2	1	0
	大竹	81.27	28	30	0	2	0
	計	**96.79**	**467**	**475**	**17**	**10**	**2**
7	広島中央	100.00	70	71	5	1	0
	広島廿日市	94.44	18	18	1	0	0
	広島城南	100.00	40	40	3	0	0
	広島南	87.00	87	90	0	3	0
	広島東南	100.00	88	91	13	3	0
	広島西南	100.00	71	71	4	0	0
	広島西	100.00	87	87	3	0	0
	計	**97.35**	**461**	**468**	**29**	**7**	**0**
8	江田島	82.81	18	18	0	0	0
	東広島	90.28	25	25	2	0	0
	東広島21	81.58	19	19	4	0	0
	呉	83.84	66	69	1	4	1
	呉東	91.41	33	33	1	0	0
	呉南	97.64	55	55	1	0	0
	西条	100.00	36	37	2	1	0
	計	**89.65**	**252**	**256**	**11**	**5**	**1**

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	84.29	28	28	3	0	0
	因島	93.33	15	15	1	0	0
	三原	95.51	53	53	0	0	0
	尾道	81.91	83	81	2	0	2
	尾道東	86.67	50	49	6	0	1
	竹原	93.33	16	16	3	0	0
	計	**89.17**	**245**	**242**	**15**	**0**	**3**
10	府中	100.00	20	20	2	0	0
	福山	97.46	80	80	0	0	0
	福山東	78.33	45	45	3	0	0
	福山丸之内	96.00	29	30	1	1	0
	鞆の浦	81.67	20	20	0	0	0
	福山REC2710※	90.00	12	10	2	0	2
	計	**90.58**	**206**	**205**	**8**	**1**	**2**
11	福山赤坂	82.89	50	50	4	0	0
	福山北	100.00	36	36	2	0	0
	福山南	96.23	56	56	2	0	0
	福山西	87.45	34	34	2	0	0
	松永	91.00	50	50	3	0	0
	計	**91.51**	**226**	**226**	**13**	**0**	**0**
12	吉舎	100.00	14	14	0	0	0
	三次	78.00	37	39	2	2	0
	三次中央	89.55	33	36	6	3	0
	庄原	91.73	31	29	4	0	2
	東城	81.46	18	18	1	0	0
	計	**88.15**	**133**	**136**	**13**	**5**	**2**
第2710地区計		**90.95**	**3096**	**3137**	**175**	**54**	**13**

※正式名称「福山ロータリー Eクラブ2710」
※※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。

グループ別
クラブ紹介
グループ２

挨拶並びにグループ事業紹介

国際ロータリー第2710地区
2021-22年度ガバナー補佐（美祢RC）
田村　繁晴

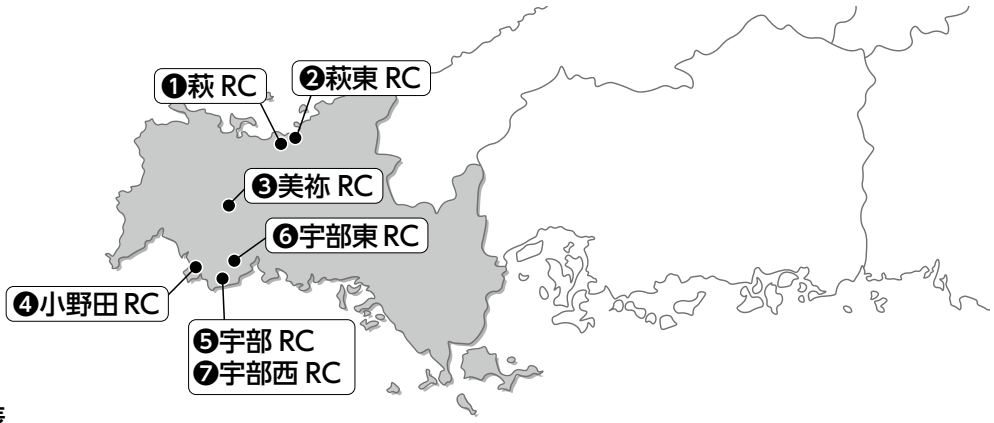
2021-22年度、グループ２ガバナー補佐を務めさせていただきます、美祢RCの田村繁晴です。美祢地区は山口県の真ん中にあり、海には面しておらず波浪警報の対象外でまさに山間地にあり、鉱工業や観光で成り立っています。

これからグループ内の各クラブを訪問し、会長、幹事、事務局、多くの会員さんにご協力いただくことが多くあると思います。牛尾補佐幹事と共に、ガバナーと連携しながら、クラブ運営のサポートに努力していくつもりです。皆様のご指導、ご支援よろしくお願いいたします。

「コロナ禍で大変な状況下にあり、世界では人種差別よる事件が多発する中だからこそ多様性を認め合う社会になっていかないといけない。」と方針を示されガバナー信条「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか」の杉川聡ガバナーのもとで、グループ一体となって実践していきたいと思います。

PETSやRLI、IMの実施が危ぶまれる中で、クラブの例会自体が休会せざるを得なくなっています。戸惑いもありますが何とか大役を全うできますよう頑張っていきたいと思っています。

７月からすでに各クラブへの補佐訪問が始まりました。グループ内のクラブと頻繁に接触しガバナーとクラブとのパイプ役をしっかり務め、充実したクラブ運営のお手伝いをさせていただきます。皆さんとの出会いを楽しみに頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



■ グループ２　クラブ紹介表

クラブ	会長	幹事	会長スローガン
❶ 萩	松村孝明	小枝寿明	琴線響魂
❷ 萩東	小林正史	松下惠行	発信しよう、萩東ロータリークラブ
❸ 美祢	戎屋昭彦	今田千恵美	利他の精神 さらなる前進 みんなの笑顔を増やそう ～人間力が高い人は利他の精神に溢れる人で、人間力の低い人は利己的な言動の多い人～
❹ 小野田	川端章弘	姫路　紀	地域とのつながりを深めよう
❺ 宇部	藤井政夫	小川伸策	みんなのためになるには、何が必要とされるか？　～ロータリーの輪を拡げよう～
❻ 宇部東	梅田芳直	大谷志成	四つのテストで『みんなのため』を実践しよう
❼ 宇部西	藤谷邦彦	曽根洋介	①会員増強　②クラブ DX の推進　③奉仕活動への積極的参加　④卓話の充実 ⑤米山奨学生支援

新会員紹介

野川　智秀
下関
2021年7月26日
電力供給

保田　薫
下関
2021年7月19日
通運業

萱島　寛
下関北
2021年7月13日
社会貢献団体

嶋戸　幸啓
萩
2021年7月29日
信用金庫

小田　茂
美祢
2021年7月6日
ホテル業

河音　篤昌
宇部
2021年7月8日
鉄鋼販売

竹内　雅彦
宇部西
2021年7月1日
サービス・自由業

中石　勝彦
山口
2021年6月16日
損害保険

桶谷　祥太郎
山口
2021年7月14日
百貨店

緒方　潤
山口
2021年7月21日
生命保険

毛利　祥元
山口
2021年7月21日
民間放送

遠藤　耕三
周南西
2021年7月20日
不動産管理

太田　憲介
周南西
2021年7月20日
警備

原田　寿興
周南西
2021年7月20日
建設業

山岡　英貴
徳山
2021年7月1日
都市銀行

岡谷　猛
徳山東
2021年8月4日
短期金融

濱田　匠
徳山東
2021年8月4日
輸送用機械器具製造業

川島　裕
岩国
2021年7月15日
電力供給

藤中　整
岩国
2021年7月15日
建設設計

堀川　功次郎
岩国
2021年7月29日
木材加工販売

嶋尾　忠宏
柳井
2021年7月13日
ホテル・飲食業

森木　孝
柳井
2021年7月6日
電気工事

髙橋　直樹
広島
2021年7月13日
ビルディング管理

田沼　直之
広島
2021年7月13日
ホテル

田島　文治
広島
2021年7月20日
自動車部品製造

青山　雅之
広島東
2021年7月7日
産業機械製造

南　慎一郎
広島東
2021年7月7日
不動産管理

清水　慶典
広島東
2021年7月14日
建築設計

田中　豊
広島東
2021年7月14日
事務機器配布

前田　啓太郎
広島陵北
2021年7月7日
金属加工

奥谷　卓也
大竹
2021年7月13日
病院

倉田　真治
大竹
2021年7月13日
信用金庫

槇殿　公誉
広島中央
2021年7月26日
健康管理事業

横川　真也
広島東南
2021年7月5日
総合商社

塩崎　滋弘
広島東南
2021年7月12日
病院-外科医

飯沼　潔人
広島東南
2021年7月12日
シティホテル経営

三木　一志
呉南
2021年6月22日
信用金庫

小林　貢
呉南
2021年6月22日
ビルメンテナンス業

高橋　達也
西条
2021年7月29日
電気工事

藤川　雅彦
福山丸之内
2021年7月1日
土地家屋調査士

水越　ひろ子
三次
2021年7月15日
福祉事業

林　初幸
三次
2021年7月29日
報道

山縣　隆
三次中央
2021年7月5日
ワイン製造販売

池田　美咲
三次中央
2021年7月5日
ホテル

光永　義則
三次中央
2021年7月5日
茶道

謹んで追悼の意を表します

2021年7月2日
ご逝去（享年89歳）

ロータリー歴　1998-99 年度　会長
各委員長歴任
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
第3回マルチプル米山功労者

職業分類　産婦人科医

尾道 RC　故　**吉田　雄一**　殿

【お詫びと訂正】　第1回　ロータリー知識クイズについて

８月号８ページに掲載した「第１回　ロータリー知識クイズ（ロータリーの目的について）」の文言が、公式文書と異なっておりました。ここに正式な「ロータリーの目的」を掲載し、合わせて答えをご紹介いたします。今後は出典に留意し、正確なクイズ作成に心がけます。
ご指摘いただいた各位に深く敬意を表するとともに、紙面を借りてお詫び申し上げます。

（月信編集委員会一同）

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として ① 奉仕の理念を奨励 し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって ② 奉仕の機会 とすること；
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の ③ 職業を高潔なもの にすること；
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、④ 奉仕の理念を実践する こと；
第４　⑤ 奉仕の理念で結ばれた職業人 が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

（My Rotary「基本理念」参照）

次号より再びロータリー知識クイズを掲載いたします。お楽しみに。

国際ロータリー第2710地区 事務局
〒732-0822　広島市南区松原町1-5　ホテルグランヴィア広島6F
TEL：(082) 506-0055　FAX：(082) 263-2323　E-mail：info@ri2710.com　URL：http://ri2710.com/